

25. 広島県除草剤・植物成長調整剤使用基準を改訂（普通作関係）

1. 背景とねらい

除草剤・成長調整剤を適正に使用することは、作物生産の省力化・安定化を図るうえで極めて重要である。そこで、新しく開発・改良される薬剤について、農林水産省の登録認可に必要なデータを提供するとともに、登録後の県内における使用基準および現地指導の資料を作成するため、効果や作物に対する安全性を評価する適用性試験を行っている。この結果に基づき、関係機関と協議して、平成20年度普通作関係除草剤・植物成長調整剤使用基準を改訂する。

2. 成果の内容

広島県除草剤・植物調整剤使用基準に普通作関係の除草剤として新規に採用した薬剤数は、水稻対象が26剤、麦類・豆類（種実）・雑穀類対象が3剤であった（表1）。

新規に採用した除草剤の中で特徴的な薬剤は次のとおりである。

- 1) 移植水稻用の初期剤および一発剤では、スルホニルウレア系除草剤（SU）抵抗性雑草に効果の高い成分を含む剤を採用した（表2）。生育期茎葉処理剤では、殺草スペクトラムの広いヒエクリーンバサグラン粒剤を採用した。
- 2) 直播栽培用では、湛水直播で使用時期が代かき後～播種4日前までの剤であるテマカットフロアブルを採用した。
- 3) 水田耕起前用として、グリホサートを高含有量化し、除草効果を高めたタッチダウンiQとラウンドアップマックスロードを採用した。
- 4) 大豆では、播種後出芽前および畦間処理で使用できるプリグロックスLを採用した。

3. 利用上の留意点

薬剤の使用にあたっては「平成20年度広島県病虫害防除基準・除草剤使用基準（農薬情報提供システム）」を参照する（<http://www.f-net.naka.hiroshima.jp/>）。なお平成19年11月末現在の登録内容であるため、最新の農薬登録内容等を確認する。

（生産環境研究部）

4. 具体的データ

表1 新規に採用した薬剤数

区 分	薬剤数
移植水稲用除草剤（初期剤）	1
移植水稲用除草剤（一発剤）	9
移植水稲用除草剤（生育期茎葉処理剤）	1
水稲直播用除草剤（湛水直播）	5
水稲直播用除草剤（乾田直播）	7
水稲畦畔・休耕田・耕起前・刈跡除草剤	3
麦類・豆類（種実）・雑穀類除草剤	3

表2 新規に採用した移植水稲用除草剤（一発剤）の効果一覧

薬剤名	適 用 雑 草 名									表 藻 層 類 剥 離
	一年生雑草		多 年 生			雑 草		草		
	ノ ビ エ	広 葉	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ウ リ カ ワ	ヤ ミ ツ ズ リ ガ	グ ク ワ ロ イ	セ リ	ム ヒ シ ル ロ	
サムライフロアブル※	○ 1.5葉 まで	○	○	○ 発生始 まで	○ 発生始 まで	○ 発生始 まで	○	○	○	
クサカリテイオーL フロアブル※	○ 1.5葉 まで	○	○	○ 発生始 まで	○ 発生始 まで	○ 発生始 まで	○ 発生始 まで	○ 再生始 まで	○ 発生期 まで	
ヨシキタ1キロ粒剤※	○ 1.5葉 まで	○	○	○ 発生始 まで	○ 発生始 まで	○ 発生始 まで		○ 再生始 まで	○ 発生期 まで	
アピロトップL フロアブル※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 再生始 まで	○ 発生期 まで	○ 発生前
ドニチS1キロ粒剤※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 再生始 まで	○ 発生期 まで	○ 発生前
プラスワンL フロアブル※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 再生始 まで	○ 発生期 まで	
シロノック 1キロ粒剤51※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 再生始 まで	○ 発生期 まで	○ 発生前
テラガードL ジャンボ※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 再生始 まで	○ 発生期 まで	○ 発生前
プラスワン 1キロ粒剤51※	○ 2.5葉 まで	○	○	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで	○ 2葉 まで		○ 再生始 まで	○ 発生期 まで	

※はSU抵抗性雑草対策成分を含む剤であることを示す。